



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス  
銘柄名 株式会社 I P S  
代表者名 代表取締役 宮下 幸治  
(コード番号: 4390 東証プライム)  
問合せ先 経営企画部次長 赤津 博康  
(TEL. 03-3549-7719)

### 2024年3月期通期個別実績値と前期実績値との差異および (連結・個別) 営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

当社は、2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の個別実績値と前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、2024年3月期において、営業外収益(為替差益)を計上することとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 個別実績値と前期実績値との差異について

##### (1) 2024年3月期通期個別実績値と前期実績値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 4,466	百万円 817	百万円 1,312	百万円 911	円 銭 73.34
当期実績(B)	3,264	648	1,969	1,483	117.76
増減額(B-A)	△1,202	△168	656	572	—
増減率(%)	△26.9%	△20.7%	50.0%	62.8%	—

##### (2) 差異の理由

売上高および営業利益が減少した理由は、2022年7月1日に国内通信事業の会社分割による分社化に関し、前期において分社化前の4月から6月までの収益の計上があったためです。

経常利益および当期純利益が増加した理由は、連結子会社からの受取配当金および円安の進行に伴い為替差益を計上したことによるものです。

#### 2. 為替差益の計上について

急激な為替相場の変動により、2024年3月期において、連結決算において為替差益730百万円、個別決算において為替差益738百万円を営業外収益に計上いたします。

これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レート（151.40円）による評価に伴い発生したものです。

なお、連結決算に関する営業外収益（為替差益）の業績に与えた影響につきましては、本日公表の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上